

31H 岡田琉之介 32H 白山敬大 32H 三宅友香
 34H 上岸美春 35H 帽子山和彦 36H 政氏克善

■課題

交通手段に乏しく、観光による収入が低迷している。

■解決策

- ・グリーンツーリズム活動を行う
- ・活動によって能登の魅力を発信し、地域経済活性のきっかけをつくる。

■現状(課題の背景)

公共交通機関の衰退に伴い、能登地域の観光業も廃れ始めている。加えて、新型コロナウイルスの影響により、大きな打撃を受けた(図1)。

しかし近年になり、グリーンツーリズム(農村漁村地域において、自然・文化・人々との交流を楽しむ余暇活動)を利用した農村地域の経済効果が見込まれている(図2)。

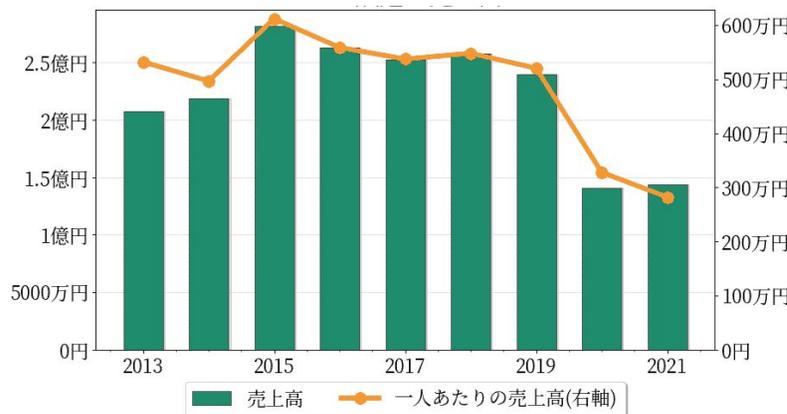


図1 のと鉄道の売上高

資料: 年収マスター

<https://nenshu-master.com/companies/noto-railway/> (2023.4.12)



図2 グリーンツーリズム施設年間延べ宿泊者数

資料: 農林水産省農村復興局調べ
 注: 平成22年度は岩手、宮城、福島県を除く
https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1407/spe1_01.html (2023.4.12)

■具体的内容

グリーンツーリズムの旅行を企画。
 都会在住の方々をターゲットとし、能登の自然を生かした自然体験を行う。

■効果

観光客・宿泊客の増加→公共交通機関の利用者増加。
 地域活性や地域再生の足がかりとできると考えられる。

〈予想の根拠〉

長野県飯山市のグリーンツーリズム活動事例。
 それにより、飯山市への移住者も増加した。

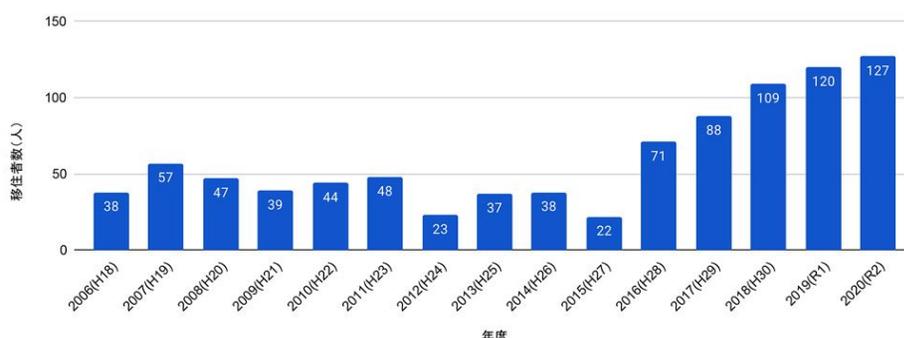


図3 長野県飯山市の移住者数

<https://www.city.iiyama.nagano.jp/soshiki/ijyuteijyusuisinka/ijyuteijyu/news/48715/2023/04/city.iiyama.nagano.jp> (2023.4.12)



図4 七尾湾での定置網体験の様子

<https://www.hot-ishikawa.jp/spot/21396>
 (2023.4.28)